

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/03/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.23	-0.23
JPY/THB	0.2604	0.0003
USD/JPY	131.44	-1.07
EUR/THB	37.18	0.06
EUR/USD	1.0856	0.0088
USD/CNH	6.861	-0.016
SGD/THB	25.72	-0.07
AUD/THB	22.88	-0.10
USD/INR	82.67	0.00
USD Index	102.35	-0.91

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.961	-0.008
10Y (THB)	2.383	-0.013
5Y (USD)	3.511	-0.237
10Y (USD)	3.434	-0.175

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,949.6	8.5
WTI (Oil)	70.90	1.57
Copper	8,888.5	131.0

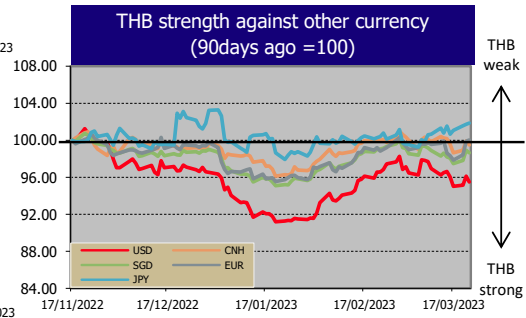
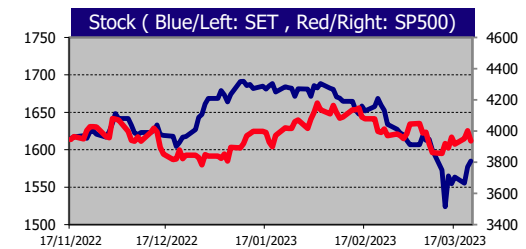
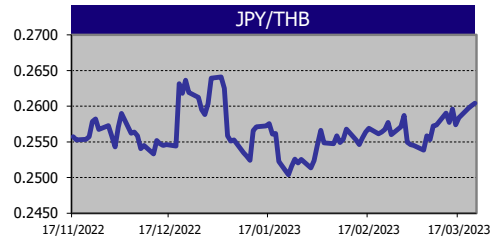
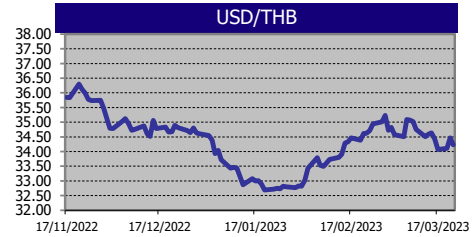
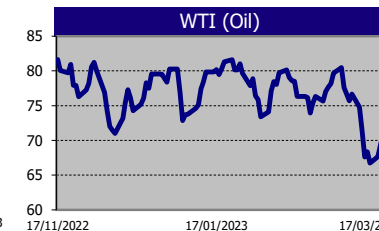
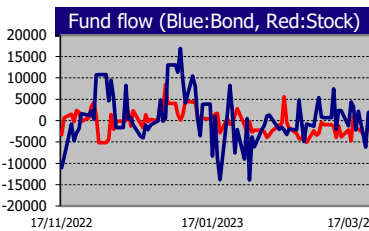
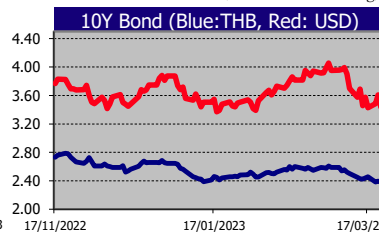
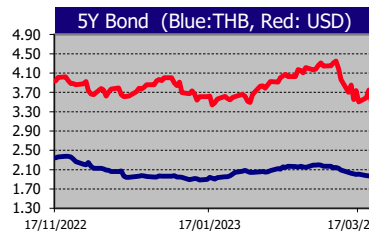
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,585.08	7.90
NIKKEI (JP)	27,466.61	520.94
DOW (US)	32,030.11	-530.49
S&P500 (US)	3,936.97	-65.90
SHCOMP (CN)	3,265.75	10.10
DAX(GER)	15,216.19	20.85

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,104)	83.4
Bond net flow	2,166	335.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。34パーツ台半ばで取引を開始し、朝方は前日の流れを引き継いで一時的にパーツ売りが強まったが、夜間に3月FOMCの結果発表を控えている中で動意乏しく、オープンとほぼ変わらずまで戻してレンジ推移。海外時間、FOMCでは25bpの利上げが決定され、パウエル議長が今年の利下げは見込まずと会見したが、利上げ停止を検討した等先行きの不透明感に対する認識を示したことで短期ゾーンの金利が低下。加えてイエレン財務長官が預金保護の上限引き上げを否定したため、金融株中心に株安となったことも重なりドル安が進行。ドルパーツは34.23で終えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。132円台半ばで取引を開始。仲値前後で132円台後半まで上昇したが、FOMCを前に失速してレンジ推移。海外時間、予想を上回る英2月CPIを受けて133円台と高値を付けたが直ぐに下落。FOMCでは、25bpの利上げが決定されるも、米銀行破綻の影響から利上げ停止も検討した等の発言もあり、市場はドル安で反応。預金保険の対象拡大に否定的なイエレン財務長官の見解も悪材料となり、131.44で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

いつになく事前予想が難しいFOMCでしたが、結果は25bpの"ハト派利上げ"でした。パウエル議長の記者会見から読み取れるFRBの意図を要約すると、"SVBの破綻がなければ50bpの利上げを視野に入れていたが、足元の銀行システム不安による信用収縮が利上げと同等の効果をもたらす可能性があることから、25bpの利上げに留めた。利上げの停止も検討したが、銀行システム不安に対しては別のツールで対応しており、かつ銀行システムは健全であることから、利上げ停止には至らなかった。"ということになります。また、SVBの破綻前は引き上げが予想されていたFOMCメンバーによる2023年末の政策金利予想は、前回12月発表時点と同じ5.125%に据え置かれました。加えて、これまでのFOMC声明文に記載されていた今後の連続利上げを示す文言が、よりソフトな文言に置き換えられており、次回5月会合における25bp利上げで打ち止めとなる可能性が示唆されました。一方、注意が必要なのは、パウエル議長は、市場が織り込む2023年中の利下げについては否定しており、この市場との認識ギャップが今後の相場変動要因となる可能性です。最近のFRBは良くも悪くも柔軟であり、仮に銀行システム不安が一層深刻になれば利下げに転じる可能性もある一方、インフレが再加速する事態になれば利上げの加速もあり得るため、しばらくは現状のボラタイルな展開が継続するものと思われます。ちなみにリーマンショックの時に比べて、金融機関の資本は充実しており、また問題がシステム全体に波及しないための施策も数多く導入されていることから、FRBのメインシナリオ通り、銀行システム不安の一層の深刻化という事態は避けられるものと考えます。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.